みなさん、おはようございます。

２年ぶりの長い夏休みが終わって、２学期の始業式を迎えました。この夏は、新型コロナウィルス感染の問題に加えて集中豪雨による災害が続きました。ここで、感染や被災をされた方に対しまして、心からお見舞い申し上げたいと思います。

この新型コロナウィルスはこれまで以上に感染力の強い変異株が確認され、この夏休み中に急速に感染拡大しました。思うような活動ができず、残念なことに合宿を控えることになった部活動もありました。

愛知県でも感染者が急速に増加し、まん延防止措置の対応を求められた後、間もなくして、再び緊急事態宣言の対象地域となり、感染拡大防止について強く求められることになりました。

そこで、これ以上感染を拡大しないよう、改めて感染防止の行動を徹底してもらいたいと思います。その中でも効果が大きいのはマスクの着用です。感染防止と濃厚接触にならないようにするためには、まずマスクの有無がポイントになります。どうしても外すような場面では、距離をとってしゃべらない、向かい合わない、昼食時は前を向いて黙食を徹底することです。手洗い、手指消毒とともに、マスクをきちんと着用してください。

このウィルスは目に見えずどこにいるかも分かりません。誰もが感染してしまう可能性があるのです。また、感染しても症状がすぐに出ないことがあり、その間、気が付かないうちに感染が広がり、人が密な状況ではクラスターと呼ばれる大量感染が起こることもあります。中には、命に関わる重大な事態を招く恐れがあるのが怖いところです。

そこで、もしも自分が感染しているとしたら、どのようにすべきか。そんな想像も働かせれば、マスクの着用とマスクを外した場面の行動が理解できると思います。厚労省アプリの「cocoa」の表紙には「知らないうちに拡めちゃうから」と書かれています。どうか、自分のそして周りの人の身を守る気持ちで行動してください。

そして、万が一感染してしまったら、速やかに学校に連絡し、調査に協力してください。また、自分のことだと言っても、感染についてＳＮＳに書き込んだりしないでください。ましてや他人のことであったり、憶測で噂話をするなど絶対にやめてください。

繰り返しになりますが、ウィルスは誰もが感染する可能性があるのです。自分もなってしまうかもしれません。だから、もしも感染者や濃厚接触者が出て分かったとしてもその人を責めないでください。ワクチン接種もまだまだ進まず、即効性のある治療法や特効薬も十分ではありません。そこで、いつもと体調が違うと感じただけでも不安でいっぱいになります。そんな人の気持ちを察してください。

もう一つ大切なこと、それは感染者への偏見や差別を決してしてはならないことです。

（中略）

さて、２学期が始まりました。何をするにも，「健やかに」が第一です。また、繰り返しになりますが感染症対策、そして熱中症の防止にも心掛けてください。

そして今、心や身体に心配なことはありませんか？

もしも迷ったり悩んでいることがあるなら、誰かに話をしてください。

最後にいつもの合い言葉です。今、置かれた立場、その場面で「健やかに　長所を生かして　たゆまず学ぼう」を実践する２学期を期待して、式辞といたします。